

脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA

もちこみ企画 募集要項

「脱原発世界会議」では、実行委員会が企画する講演やパネル討論などのほかに、参加者自身による「もちこみ企画」を多数つくりたいと考えています。

東日本大震災及び原発事故の被災地からの企画や、原発立地地域からの企画、また、学生グループによる企画はとくに歓迎します。そのための財政支援をする「サポート制度」を設けています。

以下の要項をお読みになり、ご応募ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

【1】もちこみ企画と申請について

■種別

以下1～4の種別の「もちこみ企画」を募集します。

1. イベント企画
2. ブース・展示
3. 映像・ミニステージ
4. 子ども向けプログラム

■テーマ

以下の1～3のテーマを重点テーマとします。

1. 子どもを守る
2. 自然エネルギーを普及する
3. 原発に頼らない地域づくり
4. その他

■企画の条件

1. 「脱原発世界会議」の趣旨に沿った企画であること
2. 財政支援がある「サポート制度」が適用される場合も含め、すべての企画実施団体は賛同団体であることが必要です。世界会議当日までに賛同金(1口 10,000 円)のお支払い下さい。
3. 営利を目的とするもの、特定の政党または公職選挙候補者を支持またはこれに反対する目的のもの、特定の宗教の布教目的とするものでないこと

■企画ガイドライン

こんな企画を歓迎します

1. 活動の紹介や、未来にむけてのアイデアや提案など、実践指向のもの
2. 参加者どうしのコミュニケーションやディスカッションを促すもの
3. 日本と海外をつなぐもの。世界会議の来日ゲストが参加・傍聴して有意義なもの

■申請の条件

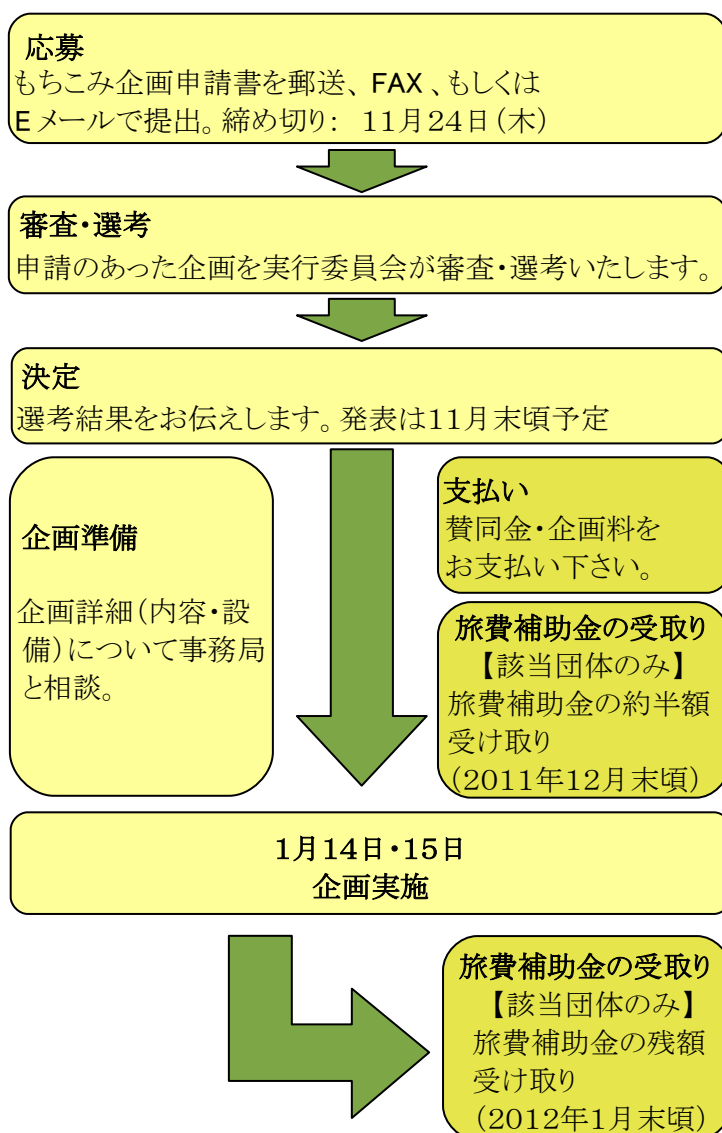
- ・ 団体からの申請を受け付けます。個人からの申請は受け付けません。

■サポート制度

1. 以下の地域の住民グループからの申請は優先的に選考し、採用された企画には実行委員会が、①企画料を免除するとともに、②「イベント企画」である場合は旅費補助金を支給します。
 - A: 東日本大震災および、それにとまなう原発事故によって被災した住民が主体となったグループ
 - B: 原発立地または原発建設の計画がある市町村またはそれに隣接した市町村の住民が主体となったグループ
2. 学生グループからの申請は優先的に選考し、採用された企画は企画料を免除します。詳細は、以下【4】の項目をご覧ください。

【2】申請から実施まで

申請から審査・選考、企画実施までの流れは以下の通りです。「まだ詳しくは固まっていないのだが、やってみたい」という企画も歓迎です。「こういう企画でもいいのだろうか?」といったご質問や、申請書の書き方についてのご質問など、事務局までお気軽にご相談ください。



■申請書の提出

別紙「もちこみ企画申請書」(→<http://npfree.jp> からダウンロード)に必要事項を明記の上、郵送、FAX、電子メールのいずれかで下記までお申し込み下さい。

【応募締め切り】

2011年11月24日(木)必着

■審査・選考

「脱原発世界会議」実行委員会において、申請および企画の内容が前述の条件に適しているかを審査し、また、前述の「企画ガイドライン」に沿って選考をいたします。もちこみ企画の数には上限があるため、選考の結果不採用とさせていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

■結果の通知

11月末日頃、選考の結果(採否)をお知らせします。

【3】企画の準備と実施まで

■企画準備相談について

- ・ 必要に応じて実行委員会が企画の準備をお手伝いさせていただきます。実行委員会では、準備・相談のための会合を予定しています。詳細は採用の通知の際に、お伝えします。

■海外からの参加者との交流を深めるために

- ・ 会議当日、実行委員会よりイベント企画には各部屋に1名ずつボランティア通訳(日英)を配置します。その他スペースには一定数のボランティア通訳(日英)を配置し、会場内を巡回します。
- ・ ボランティア通訳は、海外ゲストらが参加したときに企画の内容などを簡単に伝えることのできる方を想定していますが、専門的・本格的な通訳はできない場合があります。
- ・ もちこみ企画の部屋には同時通訳の器材はありません。器材を持ち込みたい方は、事前に実行委員会まで相談してください。
- ・ 企画で使う映像やパワーポイント等の資料は、極力英語の字幕をつける等、海外からの参加者がわかりやすいように工夫をお願いします。

■記録と報道について

- ・ 世界会議で行われるすべてのイベントは、原則としてライブ映像配信、および、記録や報道の対象となります。何か問題がある場合には事前にご相談下さい。

【4】サポート制度について

「脱原発世界会議」では、学生グループや東日本大震災および原発事故で被災された方々、復興に取り組んでいる方々、また、原発を抱えた地域で活動している方々が積極的に企画を持ち込んでいただけるように、企画料の免除や交通費等を補うための旅費補助金を支給する「サポート制度」を設けています。

詳しくは次の表の通りです。申請にあたって、要件に該当することを書面上で説明していただきます。審査の際に個別にお問い合わせする場合があります。

※「サポート制度」を使った補助金には上限があるため、選考の結果適用外とさせていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

	対象	サポート内容		要件	
		企画料免除 [すべての種別の企画]	旅費補助 [イベント企画のみ]		
A	東日本大震災および、それにともなう原発事故によって被災した住民が主体となったグループ	A-1 福島・宮城・岩手県民が主体となったグループ	○	1団体あたり 8万円	東日本大震災発生時(2011年3月11日)において該当する地域に在住していた住民を中心とするグループであること
		A-2 それ以外の地域の住民が主体となったグループ	○	1団体あたり 1～8万円 (会場までの距離などの個別の状況に応じて決定)	(例)福島で被災し、県外に避難し、避難先で活動をしている住民グループはA-1に含まれます。 ※Bとの併用は出来ません。
B	原発立地および隣接する市町村の住民が主体となったグループ	○	1団体あたり 5万円	福島・宮城・岩手県以外の、原子力発電所のある市町村、ならびに原発建設の計画がある市町村またはそれらが隣接する市町村の住民を中心とするグループ ※Aとの併用はできません。	
C	学生グループ	○		高校生、大学生が中心となったグループであること	

■備考

- 各「サポート制度」適用の上限は以下の通りです。
AおよびBの旅費補助金(イベント企画のみ):各5団体
A～Cの企画料免除:計20団体
- 旅費補助金は、2011年12月末頃に約半額、2012年1月末頃に残額を実行委員会からご指定の口座に振り込みます(振込手数料は差し引かせていただきます)。
- 「脱原発世界会議」のすべての参加者は、入場チケットが必要です。上記サポート制度適用の場合も、入場者一人につき一枚入場チケットを購入していただきますので、ご了承ください。

【5】もちこみ企画 種別毎要項

イベント企画

募集概数： 30～35企画

■会場

1. パシフィコ横浜内の会議室
2. シアター形式で130～140名入る広さの部屋になります。部屋の指定はできません。
3. 各部屋には、マイク2本、プロジェクター1台を備え付けてあり、これらの使用料は以下に記載する企画料の中に含まれます。(上記以外の器材が必要な方は別途ご相談ください。追加費用が発生する場合があります。)

■時間

1. 1企画90分を基準とします。(審査の結果、企画時間の調整をお願いする場合があります)
2. 1月14～15日。日時の指定はできません。

■企画料

- ・ 選考の結果採用された企画については、会場や設備使用のための実費として、以下の企画料をお支払いいただきます。

1企画 5,000円

■「イベント企画」申請の条件

- ・ 原則、申請は1団体につき1企画とします。

ブース・展示

募集概数 ①一般ブース:40～50区画、②その他の展示:10～15区画

■種別

1. 一般ブース:団体の活動紹介やプロジェクトの紹介など
ブース設備:長机1つ、椅子2つ、展示ボード(2.1m×1.8m)がセットになっています。
2. その他の展示:作品の展示など、大きな展示スペースを必要とするもの
(企画例)写真展、アート展、キルト作品展示など

■会場

- ・ パシフィコ横浜内の指定された展示スペースになります。
- ※ 火器(ガス、石油とも)使用不可。
- ※ 物品販売については規制があります。詳細については企画採用決定後にお知らせします。
- ※ ゴミの処分は各自責任持って行ってください。
- ※ 電源設備はありません。(電源の必要な企画実施団体は申請時に別途ご相談下さい。追加費用が必要となる場合があります。)
- ※ ブースでの楽器演奏などは出来ません。活動紹介をするために、音を使用する場合は、近隣のブースに迷惑にならないという前提のもと可能です。

■出展期間

1. 原則1月14日～15日の二日間通しになります。

2. 出展時間 1月14日(土):〈準備〉朝～ 1月15日(日):〈完全撤収〉～20:00

■搬入・搬出について

1. 宅配便:当日に出展者が直接受け取っていただくのは問題ありません。荷物を前日から預かることはできません。
2. 駐車:駐車スペースは、パシフィコ横浜内の駐車場をご利用ください。
3. 搬入場所・時間:後日お知らせいたします。

■申請の条件

1. 原則、申請は1団体につき、1区画とします。

■企画料

1. 選考の結果採用された企画については、会場や設備使用のための実費として、以下のブース・展示企画料をお支払いいただきます。
 - 一般ブース企画料:2日間(1月14日・15日):10,000円
 - その他の展示企画料:上記料金を基準に実行委員会と協議し、合意した金額。

映像・ミニステージ

概数:5～15企画

■会場

1. パシフィコ横浜内の会議室の一部屋
 2. シアター形式で130～140名入る広さの部屋になります。
- ※会場となる会議室の防音性には限界があります。音の出る企画は近隣の部屋に迷惑にならないという前提のもと可能です。また、音響設備等には限りがありますので、必要機材を申請書に記載してください(追加費用が必要となる場合があります)。

■時間

1. 下記の例のような企画を想定しています。企画時間の設定は特にありません。みなさんからの多種多様な企画申請をお待ちしています。(審査の結果、企画時間の調整をお願いする場合があります)
(例)10分のショートムービー、90分のドキュメンタリー、30分の脱原発漫才、60分のギター弾き語りなど。
2. 1月14～15日。日時の指定はできません。

■申請の条件

- ・ 原則、申請は1団体につき1企画とします。

■企画料

- ・ 選考の結果採用された企画については、会場や設備使用のための実費として、企画料をお支払いいただきます。「イベント企画」の企画料(5000円)を基準とし、実行委員会と協議し、合意した金額。

子ども向けプログラム

概数:5～15企画

■会場

1. パシフィコ横浜内会議室の一部屋
2. シアター形式で130～140名入る広さの部屋になります。
3. 各部屋には、マイク2本、プロジェクター1台を備え付けてあり、これらの使用料は以下に説明する企画料の中に含まれます。(上記以外の器材が必要な方は別途ご相談ください。追加費用が発生する場合があります。)

■時間

1. 下記の例のような企画を想定しています。企画時間の設定は特にありません。みなさんからの多種多様な企画申請をお待ちしています。(審査の結果、企画時間の調整をお願いする場合があります)
(例)15分の紙芝居、45分の子ども向けワークショップ、子ども向け展示「放射能ってなに？」など。
2. 1月14～15日。日時の指定はできません。

■企画料

1. 選考の結果採用された企画については、会場や設備使用のための実費として、企画料をお支払いいただきます。「イベント企画」の企画料(5000円)を基準とし、実行委員会と協議し、合意した金額。

■申請の条件

- ・ 原則、申請は1団体につき1企画とします。

■応募先・問い合わせ先

「脱原発世界会議」事務局

「もちこみ企画担当」宛 (担当:大阿久)

TEL:03-6851-9791 FAX 03-3363-7562

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1 ピースポート気付

ホームページ:<http://www.npfree.jp/> 電子メール: event@npfree.jp